

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

平成30年4月23日現在  
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)				
バラ	青森	施設	サムライ アバランジェ	4~11月 ( 5月 )	1.15 (100%)	300 (100%)	200 (100%)	50	30	20	田舎館村 三戸町 新郷村
	茨城	施設	アバランチェ, サムライほか	周年	8	550	450	30	40	30	土浦市, 石岡 市他
	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.8 (100)	1,107 (103)	834 (103)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村
	静岡	施設	サムライ アヴァランチェ オール4ラブ ベイブ	周年 3-5月		1,200 90%	1,000 90%	40	30	30	JA掛川市 JA大井川 JALしみず JA静岡市
	愛知	周年	サムライ08 アバランチェ系 ファンシーローラ シンディ その他	4-3月 ( ) ( %)		3,500 98%	2,000 98%	30	33	37	愛知みなみ ひまわり 西三河
	大分	施設	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年	6.5	200 110%	80 120%	30%	30%	40%	玖珠九重 九重町飯田 山香
アルストロメリア	山形	周年	アバランジェ ホワイトニー ピンクティアラ レベッカ サンマリノ ヒラド	周年 (11~翌2月)	8.5 (100%)	1,200 (100%)	( %)	40	30	30	JA山形おきたま JA鶴岡 JA庄内みどり  ほか
	長野	周年	ピンクティアラ ハニーソフィア ホワイトニー レベッカ	周年 (4上~5中)	24 (99%)	1,790 (101%)	770 (101%)	40	30	30	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	青森	面積、生産者数は前年と同じ。雪解けは例年よりも早かったものの、4月に入り気温の低い日が続いており、生育は平年並み。	<p><b>現状</b> 気候が温暖で約1週間程度早まっている状況。例年に比べ、高冷地の品質も良く、西南暖地も夜温が低い為、品質が良好。需要は非常に少なく、低単価が続いた。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>第一花き 母の日・ブライダル需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。SD@110 SP@100</p> <p>大田花き 母の日は赤系、ピンク系中心に堅調な動きが見込まれる。高冷地、暖地のセリ順の入れ替えが行われ、高冷地中心の取引きになる。</p> <p>FAJ 母の日需要から上旬は50CMクラスを中心に引き合い強くなる見込み。</p> <p>東日本板橋花き 4月末からの大型連休は日柄もよく、婚礼需要の引き合いが強まる見込み。また母の日もあるため5月前半まではまずまずの販売を見込むが5月後半は入荷量次第ではあるがこれといった需要は無く鈍い販売の見込み。</p> <p>世田谷花き 母の日に向け需要は強まる見込み。だが今年も連休と重ならないため、動きは鈍いだろう。</p> <p>東京フラワーポート 母の日需要が中心で各産地出荷増潤沢な入荷見込。</p>
	茨城	平年並み	
	群馬	日照も多く生育は順調である。4月下旬より冬季休眠産地からの出荷が始まる。ただ、母の日以降は主産地で例年どおり改植作業が始まるため、月後半から出荷量が減る品種がある。今年は気温が高いため、一部でハダニ類の発生が見られるが適宜防除にあたっているため特段影響は無い。	
	静岡	4月は天候安定、気温上昇により生育ペースが進み中旬まで前年より約2割程多い出荷状況である。70cm等の上位階級発生率が高い。3月末より、一部産地で改植も進んでおり、母の日明けにさらに進む。母の日向けは生育サイクルが早まった事でやや少な目の出荷を見込んでいる。	
	愛知	・生育は良好で、70cm中心の出荷となる。 ・4月上旬から中旬にかけて出荷量が多かったが、徐々に落ち着いてきている。 ・全体的にはピークがなく、だらだらとした出荷となる見込み。	
	大分	温度をたいていなかった分が、徐々に増加してきている状況。改植した分に関しては、未だ出荷できていないが、メルヘンローズを中心におおむね順調にきている。	
	山形	○気温の上昇と日射量の増加に伴い、生育・開花は順調で、現在の出荷量は前年よりやや多い。 ○切り花の品質は良好である。 ○病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 ○5月は前年並みの出荷量を見込む。 ○4月下旬以降、前年並みに改植作業が始まる。	
長野	出荷最盛期。好天にも恵まれ、安定した品質による出荷が各産地より続く。4月下旬以降、改植へ徐々に入るため数量は落ち着く。		
アルストロメリア		<p><b>現状</b> 上旬に各産地ピークを迎え、低調な相場となった。中旬の低温の影響から生育が鈍くなり、数量が減少。業務需要もあり、引き合いが強まり相場も戻した。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>第一花き 業務需要中心の中、概ね例年並み</p> <p>大田花き 4月下旬から数量が減少してくるため、5月の母の日需要から引き合いが強まる。その後、北海道、長野、山形、愛知中心に入荷する。</p> <p>FAJ 母の日に向けて需要拡大。比較的安定した相場での販売続く見込み。</p> <p>世田谷花き 上旬目処に減少。その後は高冷地産の出荷次第。</p> <p>東京フラワーポート 天候から4月多くなり価格が低迷した分暖地産は改植を進めるため減少となる。</p>	